

1 週目は主に授業見学と生徒との関係をつくることに力をいれました。授業見学では先生の話し方、間のとり方、授業の進め方やクラスの雰囲気特に注目し、教材研究の時間を多くとりました。授業見学ではある程度自分が実際に授業を行う時のイメージが描けたと思います。また、ホームルームを担当したクラスでは、自分から積極的に話しかけることを意識しました。そうすることで、生徒たちもたくさん自分の話をしてくれたように思います。部活のこと、委員会のこと、普段の生活のことなど何気ないことを少し話すだけでも、距離が縮まったと感じました。ここでしっかり関係をつくったことは、後々実際に授業を行う際などで役に立ちました。

2 週目からは実際に授業を行いました。本当にクラス、校時によって生徒の反応が違うので、上手くいかず落ちこむこともたくさんありました。しかし、その度に指導教諭の先生がアドバイスを下さり、修正して次の授業に生かすことができましたと思います。特に生徒の表情やうなずき、目線を見ていると、その授業を理解しているか分かると感じました。生徒の「わかった。」という言葉を聞くと励みになりましたし、社会をもっと好きになってほしいと思いました。

3 週目は大分授業にもなれてきて、少し余裕が出てきていたと思います。その分生徒に発問する際に、「これについてはどう思う。」「なぜこう思ったの。」と少しずつ深い問いを投げかけることができました。研究授業はあせってしまって予定通りに進めることができずでしたが、先生方のアドバイスを聞いて、その翌日に行った最後の授業では反省点を少し改善できたかなと思います。

クラスの生徒とは、2 週目 3 週目となるにつれてより打ちとけることができましたと思います。部活や学習面の相談をうけたりと、生徒にとって私は「先生」であることを改めて実感しました。特に最終日には他クラスの生徒もたくさん話しかけてくれて、この実習校で本当に良かったと思います。どの生徒も帰り際に「ありがとうございました。」と言ってきて、この実習は本当に生徒の皆に支えられていたと感じました。生徒たちは素直で、明るくて、私が授業中にあわてていても待っていて本当に受け入れてもらえたと思います。今回の実習で学んだことを忘れずに、大学でもっと教育について学びたいと思いました。また、今回実習校にはとてもお世話になり、生徒たちとの関係もできたので何かの機会にまた訪れたいと思います。本当に現場の先生方は多忙で、教師は大変な仕事だと思いましたが、どの先生もとてもやりがいがあるとおっしゃっていました。生徒のためを思って先生方は動いていらっしゃる、先生方の努力で学校は支えられていると感じました。授業という表の部分と学校運営という影の部分の両方を知ることができ、この実習を通して「先生」という職業への憧れがよりいっそう強まりました。来年教員採用試験を受験するので、今回の実習で学んだこと、反省した点を忘れずに試験に臨めたいと思います。そして、いつか実習校に教員として戻ってこれたら、と思いました。指導教諭の先生、指導して下さった先生方、本当にお世話になりました。これからも教員を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。